



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月15日

上場取引所 福

上場会社名 日本乾溜工業株式会社
コード番号 1771 URL <http://www.kanryu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沢井 博美

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 池田 秀孝

TEL 092-632-1050

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	8,328	12.3	705	36.8	719	37.7	435	△15.1
24年9月期第2四半期	7,416	△12.4	516	△22.3	522	△21.8	512	△21.7

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 522百万円 (△6.5%) 24年9月期第2四半期 559百万円 (△19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	86.08	35.39
24年9月期第2四半期	103.32	42.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	9,754	3,475	35.6	491.20
24年9月期	6,669	2,998	44.9	387.83

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 3,475百万円 24年9月期 2,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	5.0	421	0.2	441	0.1	230	△43.2	41.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定のため、24年9月期の優先株式の配当率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期2Q	5,102,000 株	24年9月期	5,102,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	61,762 株	24年9月期	1,762 株
----------	----------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	5,059,688 株	24年9月期2Q	4,965,238 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考情報)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金の総額は、以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1回優先株式					
24年9月期	—	0 00	—	10 00	10 00
25年9月期	—	0 00			
25年9月期(予想)		0 00	—	未定	未定

(注) 25年9月期の予想につきましては、配当年率が平成25年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年10月1日～平成25年3月31日)におけるわが国経済は、復興需要の下支え等により回復の動きを示し、また、平成24年12月の政権交代をきっかけに、政府の経済財政運営に対する期待感などを背景に、円安・株高基調への転換等明るい兆しがみられ、一部で持ち直しの動きがみられました。

当社が主力とする建設業界におきましては、国及び地方公共団体の公共事業関連費は前年を上回り、堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、受注の確保、徹底したコスト管理により、目標利益の達成に向けて全社をあげて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は83億28百万円(前年同四半期比12.3%増、9億12百万円増)、営業利益は7億5百万円(同36.8%増、1億89百万円増)、経常利益は7億19百万円(同37.7%増、1億96百万円増)、税金等調整前四半期純利益は7億11百万円(同36.6%増、1億90百万円増)と増益となりましたが、四半期純利益につきましては、前期に税務上の繰越欠損金が解消し、法人税等が増加したため、4億35百万円(前年同四半期比15.1%減、77百万円減)となりました。

なお、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業における工事につきましては、東九州自動車道関連工事などの交通安全施設工事等が順次完成したことにより、完成工事高は前年同四半期を大きく上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましても東九州自動車道関連工事に伴うガードレールをはじめとした防護柵等の交通安全施設資材の販売が好調に推移しました。

以上の結果、建設事業の売上高は71億円(前年同四半期比14.5%増、9億1百万円増)、セグメント利益は7億69百万円(同35.2%増、2億円増)となりました。

(防災安全事業)

防災安全事業につきましては、自然災害に備える防災意識が高まっていることを受け、官公庁を中心に備蓄用資機材の販売が堅調に推移しました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は9億41百万円(前年同四半期比2.0%増、18百万円増)、セグメント利益は56百万円(同6.2%増、3百万円増)となりました。

(化学品事業)

化学品事業につきましては、タイヤの製造過程で使用されるゴム加硫剤(不溶性硫黄)の販売が、会計年度の序盤ではエコカー補助金終了の影響を受けたものの、売上高は2億87百万円(前年同四半期比2.4%減、7百万円減)、セグメント利益は72百万円(同3.7%減、2百万円減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、97億54百万円(前連結会計年度末比46.2%増、30億84百万円増)となりました。

資産につきましては、流動資産が71億82百万円(同70.8%増、29億77百万円増)となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間特有の傾向として売上債権の残高が前連結会計年度末と比較して増加する傾向にあることから売上債権が27億50百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、25億71百万円（同4.3%増、1億7百万円増）となりました。その主な要因は、株式市場の活況により当社が保有している株式の価格が上昇したことなどに伴い、投資有価証券が1億18百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、62億78百万円（同71.0%増、26億6百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間に売上が集中するために仕入債務が24億51百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、34億75百万円（同15.9%増、4億77百万円増）となりました。その主な要因は、四半期純利益を4億35百万円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、16億70百万円（前年同四半期比51.7%増、5億69百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億62百万円の資金の増加となりました（前年同四半期は1億5百万円の資金の減少）。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を7億11百万円計上したことにより資金が増加しましたが、完成工事高が3月に集中したことで売上債権が27億57百万円増加、仕入債務が24億51百万円増加したために資金が3億6百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、42百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は40百万円の資金の減少）。その主な要因は、営業店の資材倉庫新設や事務所建替費用などの支払により45百万円資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、23百万円の資金の減少となりました（前年同四半期は21百万円の資金の減少）。その主な要因は、短期借入金の増加により資金が1億円増加しましたが、長期借入金の返済により64百万円、株主配当金の支払いにより35百万円、リース債務の支払いにより14百万円の資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第2四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年3月31日まで）までの業績につきましては、主力事業である建設事業において、東九州自動車道関連工事などの工事の受注が当初計画を上回ったことやガードレールなどの交通安全資材の販売が好調であったことにより、売上が当初計画を上回りました。また、利益面につきましても、売上高の増加に加え、工事において原価管理の徹底ができたことにより売上総利益が増加した結果、当初計画を上回りました。

以上のことから、通期の業績予想につきましては、第2四半期までの業績を踏まえ、第3四半期以降の計画の見直しを行なった結果、平成24年11月15日に発表した通期業績予想を上記の通り連結・個別とも上方修正しております。

業績予想の修正については、本日（平成25年5月15日）発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,849	1,660,306
受取手形・完成工事未収入金等	2,556,014	5,306,122
有価証券	10,136	10,140
未成工事支出金	126,197	83,856
商品及び製品	89,421	72,662
仕掛品	9,452	9,046
原材料及び貯蔵品	9,304	6,749
その他	50,749	54,474
貸倒引当金	△10,246	△21,019
流動資産合計	4,204,880	7,182,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	622,607	611,383
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	55,452	45,860
土地	1,116,688	1,116,688
その他(純額)	13,349	37,021
有形固定資産合計	1,808,098	1,810,954
無形固定資産		
のれん	14,855	11,141
その他	86,879	74,389
無形固定資産合計	101,735	85,531
投資その他の資産		
投資有価証券	429,285	547,317
差入保証金	115,030	115,040
その他	76,898	86,110
貸倒引当金	△66,155	△73,017
投資その他の資産合計	555,058	675,450
固定資産合計	2,464,891	2,571,936
資産合計	6,669,771	9,754,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,210,317	4,661,776
短期借入金	224,420	309,220
未払法人税等	61,284	276,723
未成工事受入金	194,429	115,091
賞与引当金	80,000	70,430
役員賞与引当金	9,274	—
株主優待引当金	3,330	—
その他	185,926	204,025
流動負債合計	2,968,981	5,637,266
固定負債		
長期借入金	231,230	181,970
退職給付引当金	392,985	362,630
繰延税金負債	22,580	54,975
その他	55,970	41,682
固定負債合計	702,766	641,257
負債合計	3,671,748	6,278,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	698,570	698,570
利益剰余金	1,813,400	2,213,642
自己株式	△229	△10,009
株主資本合計	2,925,416	3,315,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,607	159,874
その他の包括利益累計額合計	72,607	159,874
純資産合計	2,998,023	3,475,751
負債純資産合計	6,669,771	9,754,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	7,416,008	8,328,779
売上原価	6,134,865	6,873,002
売上総利益	1,281,142	1,455,777
販売費及び一般管理費	765,126	749,820
営業利益	516,015	705,957
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,712	3,354
受取賃貸料	3,050	3,356
受取手数料	2,245	7,420
その他	3,383	3,068
営業外収益合計	12,390	17,199
営業外費用		
支払利息	5,635	3,795
その他	673	282
営業外費用合計	6,308	4,078
経常利益	522,098	719,077
特別利益		
固定資産売却益	166	—
特別利益合計	166	—
特別損失		
固定資産除却損	133	7,416
投資有価証券売却損	379	433
会員権評価損	1,230	—
特別損失合計	1,743	7,850
税金等調整前四半期純利益	520,522	711,227
法人税、住民税及び事業税	8,468	270,947
法人税等調整額	△932	4,737
法人税等合計	7,536	275,685
少数株主損益調整前四半期純利益	512,985	435,542
四半期純利益	512,985	435,542

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	512,985	435,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,155	87,267
その他の包括利益合計	46,155	87,267
四半期包括利益	559,140	522,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559,140	522,809
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	520,522	711,227
減価償却費	48,168	40,650
のれん償却額	3,713	3,713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,874	17,635
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,896	△30,355
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,847	△9,570
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,648	△9,274
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△3,050	△3,330
固定資産除却損	133	7,416
固定資産売却損益(△は益)	△166	—
受取利息及び受取配当金	△3,712	△3,354
支払利息	5,635	3,795
投資有価証券売却損益(△は益)	379	433
売上債権の増減額(△は増加)	△2,963,113	△2,757,620
未成工事受入金の増減額(△は減少)	39,408	△79,338
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,808	62,060
仕入債務の増減額(△は減少)	2,257,777	2,451,459
その他	20,882	15,411
小計	△89,130	420,962
利息及び配当金の受取額	3,712	3,353
利息の支払額	△5,150	△3,716
法人税等の支払額	△15,121	△57,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,689	362,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,960	△45,138
有形固定資産の売却による収入	190	—
投資有価証券の取得による支出	△2,661	△2,804
投資有価証券の売却による収入	3,500	4,000
貸付金の回収による収入	1,509	1,474
その他	△50	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,471	△42,817
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△71,960	△64,460
リース債務の返済による支出	△14,281	△14,281
自己株式の取得による支出	—	△9,780
配当金の支払額	△34,905	△35,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,146	△23,716
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△167,306	296,460
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,151	1,373,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,100,844	1,670,446

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,198,825	922,546	294,636	7,416,008	—	7,416,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	55	—	55	△55	—
計	6,198,825	922,602	294,636	7,416,063	△55	7,416,008
セグメント利益	569,309	53,332	74,924	697,566	△181,551	516,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△181,551千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△181,551千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,100,122	941,104	287,552	8,328,779	—	8,328,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	51	—	51	△51	—
計	7,100,122	941,156	287,552	8,328,831	△51	8,328,779
セグメント利益	769,888	56,634	72,176	898,700	△192,743	705,957

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,743千円は、報告セグメントに配分していない全社費用△192,743千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成25年9月期第2四半期（中間期）決算概要

1. 経営成績

1) 連結損益計算書

（単位：百万円、％）

勘定科目 \ 期別	当第2四半期 平成25年3月	前第2四半期 平成24年3月	増 減	増減率	
売 上 高	8,328	7,416	912	12.3	増収
営 業 利 益	705	516	189	36.8	増益
経 常 利 益	719	522	196	37.7	増益
税金等調整前 四半期純利益	711	520	190	36.6	増益
四半期純利益	435	512	△77	△15.1	減益
一株当たり四半期純利益	86円08銭	103円32銭	△17円24銭	△16.7	

当社グループの第2四半期の連結業績（平成24年10月1日～平成25年3月31日）につきましては、主力事業であります建設事業が、東九州自動車道関連工事などの交通安全施設工事等が順次完成したことにより、完成工事高は前年同四半期を大きく上回りました。また、建設工事関連資材の販売につきましても東九州自動車道関連工事に伴うガードレールをはじめとした防護柵等の交通安全施設資材の販売が好調に推移しました。この結果、建設事業の売上高は71億円（前年同四半期比14.5%増、9億1百万円増）となりました。

防災安全事業につきましては、自然災害に備える防災意識が高まっていることを受け、官公庁を中心に備蓄用資機材の販売が堅調に推移し、この結果、防災安全事業の売上高は9億41百万円（前年同四半期比2.0%増、18百万円増）となりました。

化学品事業につきましては、タイヤの製造過程で使用されるゴム加硫剤（不溶性硫黄）の販売が、会計年度の序盤ではエコカー補助金終了の影響を受けたものの、売上高は2億87百万円（前年同四半期比2.4%減、7百万円減）を確保しました。

以上の結果、第2四半期の連結業績の売上高は、83億28百万円（前年同四半期比12.3%増、9億12百万円増）となり2期ぶりの増収となりました。

また、利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益は7億5百万円（同36.8%増、1億89百万円増）、経常利益は7億19百万円（同37.7%増、1億96百万円増）、税金等調整前四半期純利益は7億11百万円（同36.6%増、1億90百万円増）となり増益を確保できましたが、四半期純利益につきましては、税負担の増加に伴い、4億35百万円（同15.1%減、77百万円減）となりました。

2) セグメント別売上高

（単位：百万円、％）

セグメント \ 期別	当第2四半期 平成25年3月	前第2四半期 平成24年3月	増 減	増減率
建 設 事 業	7,100	6,198	901	14.5
防 災 安 全 事 業	941	922	18	2.0
化 学 品 事 業	287	294	△7	△2.4
合 計	8,328	7,416	912	12.3

2. 平成 25 年 9 月期見通し (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

勘定科目 \ 区 分	今回発表 (平成25年5月15日)	前回発表 (平成24年11月15日)	増 減	増減率
売 上 高	12,100	11,100	1,000	9.0
営 業 利 益	421	200	221	110.5
経 常 利 益	441	206	235	114.1
当 期 純 利 益	230	100	130	130.0

2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

勘定科目 \ 区 分	今回発表 (平成25年5月15日)	前回発表 (平成24年11月15日)	増 減	増減率
売 上 高	11,750	10,850	900	8.3
経 常 利 益	433	193	240	124.4
当 期 純 利 益	225	90	135	150.0

当社グループの通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年3月31日まで)までの業績を踏まえ、第3四半期以降の計画の見直しを行なった結果、平成24年11月15日に発表した通期業績予想を上記の通り連結・個別ともに上方修正することといたしました。

また、上記業績予想を踏まえ平成25年9月期の期末配当金につきましては、当初の1円/株から3円/株に修正することといたしました。

3. その他

別添「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上